

第12回 宮津まちづくり会議 報告

日時：平成28年5月23日（月）14：00～15：00

場所：宮津商工会議所 大会議室

1 報告事項

(1) 委員の変更について

(2) 平成27年度事業報告について

→特段意見なし

2 協議事項

(1) 平成28年度事業計画について

→特段意見なし、了承

<宮津市から報告書の検討状況について報告>

(宮津市)

- ・昨秋の報告書において、市へ検討依頼をいただいた2点については、現在、庁内や関係団体と調整しているところであるが今のところ進展はない。

(会長)

- ・道の駅登録後、多くの方が道の駅に来訪されている中、現在のまごころ市ではサービスの限界が来ており、早急に機能拡充をしていくべきと考える。
- ・今年度は形あるものとして進めていきたい思いがある中で、早急に実現可能な場所があれば教えていただきたい。

(宮津市)

- ・報告書で整理したとおり、地域振興拠点の将来像は海までエリアを繋げていくことから、第一弾としてまごころ市が建設されている再開発用地（1,200㎡）なら活用は可能。

(会長)

- ・駐車場の確保も必要ではないか？

(宮津市)

- ・駐車場は、向かいの交流センター側の駐車場と調整しながら確保する必要はある。
- ・現在、その点も含め関係団体と調整しているので、宮津まちづくり会議からも声を挙げてほしい。

(2) 地域振興拠点の具体化について

【質疑応答等】

- ・事業化する場合、外部からの有識者も入れて審査すべき。外の目を入れるべき。
→もちろん外部の視点は入れていきたい。
- ・事業の提案募集をする場合、募集条件を入れすぎると提案者は困ってしまう。特に、既存の農産物等直売所の連携も必要だが、全体を見て設計を提案してもらう方が良いのではないか。
→運営や建物のデザインなど、直売所の建屋を含め全体でコーディネートしたい思い。
- ・隣接する大型商業施設との調整はしっかりお願いしたい。すでに今も丹後のお土産としてのぼりが立っている。共存共栄は必須で相乗効果を出す必要がある。
→隣接する大型商業施設への説明はしっかり行っていきたい。大型商業施設とは共存共栄していき、ともに集客力を高め、浜町地区の賑わいを起こしていきたい。
→今年度は具体的な動きにつなげていかないといけない。今後皆さんの意見をいただき、詳細な手法を詰めていきたい。

【まとめ】

- ・具体化に向けた、詳細な手法については、宮津商工会議所を中心に整理していく。
→了承

3 その他

【主な意見】

- ・島崎公園について、来訪者が楽しんでもらえるように一体的に整備することが望ましいのではないか。

4 顧問から

(今井会頭)

- ・地域振興拠点の実現について、今後も色々とハードルをクリアしないといけないが、とにかくスピード感をもって進めていきたい。今年度が勝負。
- ・浜町エリアを中心に行って良かったねという場所にしていくべき。
- ・先日のGWは想定より渋滞がなかった。その分、舞鶴からの流れが多いように感じ、おそらく日本遺産・世界記憶遺産による舞鶴の来訪者が増え、天橋立へは“ついで”で来られるという流れになり始めているのではないか。
- ・日本三景が教科書に掲載されなくなった今、今後の宮津のまちのあり方をしっかりと

議論しないといけない。

- 実際に、浜町や島崎公園のあたりを歩くと、国道側から公園側は、築山などがあり公園が全く見えず、また日本庭園などでごちゃごちゃしている状況。
- 一方、与謝野町の阿蘇シーサイドパークは、その分見晴らしが良い。広い空間を創出させるためにも芝生化は必須なのでは。地域振興拠点と併せて、島崎公園の公園機能を再度取り戻すことは大事。
- 沖縄の屋台村に行くと、ものすごい観光客だった。そこには核となる物販施設が充実していた。
- 時間がない中、来訪者に満足していただくエリアにしていきたい。できるところから順次やってほしい。
- 来訪者は地元産にこだわった店舗で買いたいと思っているのが現状。
- L字ゾーンは、まだ店舗もあり。市内で唯一再生できるゾーンではないか。今後メスを入れれば、確実に再生できると思う。宮津駅から歩いて楽しめるまちにしていきたい。
- 夢は追いつけることが大事。我々も色々と発想を変えていかなくてはならない。

以上